



1. マーケット・レート

			9月12日	9月13日	9月14日	9月15日	9月16日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2470	3.3140	3.3440	3.3020	3.2620	-0.0400
	BRL/JPY	Spot	31.36	30.95	30.62	30.90	31.32	+0.42
	EUR/USD	Spot	1.1236	1.1218	1.1249	1.1244	1.1162	-0.0082
	USD/JPY	Spot	101.85	102.58	102.43	102.07	102.27	+0.20
金利	Brazil DI Future	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	13.66 12.90	13.72 13.02	13.74 13.00	13.69 12.98	13.66 12.90	-0.0309 -0.0736
	On-shore USD	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	2.247 2.284	2.316 2.392	2.280 2.328	2.252 2.295	2.130 2.201	-0.122 -0.094
株式	Bovespa指数		58,586.11	56,820.77	57,059.46	57,909.49	57,079.76	-829.73
CDS	CDS Brazil 5y		253.56	269.11	277.25	272.36	273.34	+0.98
商品	CRB指数		182.936	180.560	179.495	180.676	180.784	+0.108

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。

2.週間市況、トピックス

- 今週のアルペニスティックは弱い米経済指標を受けたリスク資産売りで一時3.36台半ばまで下落。
- アルペニスティックは週初3.2710で寄り付き、ブレイナードFRB理事のハト派発言を受けてドルが売られると週間高値となる3.2420を示現。しかし、原油価格の下落を受けてアルペニスティックは反落し、週央には米8月小売売上高と鉱工業生産がいずれも予想を下回ったことを受けてリスク資産売りが強まる、週間安値となる3.3660を示現した。その後、週末にかけて大口のインフローと思しきアルペニスティック買戻いで反発し、3.2620で越週。
- 伯中銀公表のアナリスト予想調査では2016年のGDP成長率予想が▲3.20%から▲3.18%に引き上げられ、2017年予想は1.30%で据え置かれた。インフレ率予想は2016年末が7.34%から7.36%に引き上げられ、2017年末は5.12%に据え置かれた。
- 12日、ブレイナードFRB理事は緩和解除には慎重さを維持すべきであり、予防的な引き締めシナリオは説得力がないと発言。来週のFOMCを控えFOMCのメンバーが公の場での発言を自粛する期間に入る前の最後の講演として注目されていたが、理事のハト派発言を受けて米利上げ観測が一段と後退した。
- 13日、クーニヤ前下院議長の議員権剥奪の表決が行われ、賛成450票、反対10票の圧倒的多数で議員権の剥奪を決議した。
- 14日、検察省は石油公社の汚職スキームを組織していた中心人物としてルラ前大統領を起訴した。
- テメル政権は空港や港などのインフラに関する34件のプロジェクトの運営権委譲と民営化を発表した。入札する企業は必要経費の20%を自己資本、BNDESからの融資枠で40%-50%、残りを民間銀行で調達することが求められる。
- 伯中銀はドル買戻介入金額を14日から従来の5億ドルから2.5億ドルに減額した。伯中銀は来週月曜日も2.5億ドルのドル買戻介入を実施すると発表している。

3.今週のチャート&ハイライト



出所 : Bloomberg

原油価格が2ヶ月ぶりの水準まで下落

米国で製油所がメンテナンスのための操業停止に入るため、原油在庫が再び膨張すると懸念が高まることや、国際エネルギー機関が供給過剰の解消にはこれまで予想されていたよりも時間がかかるとの見通しを示したことによって原油価格が下落。米国の経済指標が相次いで予想を下回ったことからリスク資産売りの動きが強まつたことも相まって、WTI先物価格は2ヶ月ぶりに1バレル43ドルを割り込んだ。これを受けてアルペニスティックも下落し、7月以来の安値をつけた。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.20—3.40

来週は20から21日に開催されるFOMCに注目が集まる。9月に入ってから予想を下回る米経済指標が相次いで発表されたことを受け、市場参加者の中では政策金利の据え置きを予想する声が大半を占めている。仮に利上げが行われれば大きなサプライズとなりレアルは売られるだろう。現在の市場予想では12月のFOMCで利上げが行われるとの見方が強いが、来週のFOMC声明文次第では年内利上げ観測が後退する可能性もあり、声明文の内容に注目が集まっている。ブラジル国内では大きなイベントはなく、来週のレアルはドルサイドの材料に左右される展開となろう。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FGV CPI IPC-S	0.28%	0.27%	0.34%
ブラジル	IBGEサービス部門売上高 前年比	-4.5%	-4.5%	-3.4%
米	消費者物価指数(前年比)	1.0%	1.1%	0.8%
米	ミシガン大学消費者マインド	90.6	89.8	89.8
米	ネット長期TICフロー	\$30.0b	\$103.9b	-\$0.5b

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	9/19	IGP-M Inflation 2nd Preview	Sep	0.31%	0.09%
ブラジル	9/19	経済活動(前月比)	Jul	0.20%	0.23%
ブラジル	9/19	貿易収支(週次)	Sep 18	--	\$997m
ブラジル	9/19	税収	Aug	95910m	107416m
ブラジル	9/19	登録雇用創出合計	Aug	-32000	-94724
ブラジル	9/19	Federal Debt Total	Jul	--	2959b
ブラジル	9/20	FIPE CPI-週次	Sep 15	0.10%	0.05%
ブラジル	9/20	CNI産業信頼感	Sep	--	51.5
米	9/20	住宅着工件数	Aug	1190k	1211k
米	9/21	FOMC政策金利(上限)	Sep 21	0.5%	0.5%
ブラジル	9/22	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	Sep	0.35%	0.45%
米	9/22	中古住宅販売件数	Aug	5.45m	5.39m
米	9/22	コンファレンスポート 景気先行指数	Aug	0.0%	0.4%
ブラジル	9/23	FGV CPI IPC-S	Sep 22	--	0.27%
米	9/23	マーケット米国製造業PMI	Sep P	52.0	52.0

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しております。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。